



第25回

其田 健也 さん

Sonota Kenya

Profile

十和田市出身。駒澤大学経営学部経営学科2年、陸上部所属。十和田中学校在学中にはサッカー部・駅伝部で活躍。青森山田高校を経て、陸上の名門、駒澤大学へ進学。目標とする選手は田村優宝選手（野辺地町出身、日本大学4年生）。趣味はサッカー観戦。



▲楽しみと話していた成人式。
中学生時代の恩師や旧友らと再会



▲中学生のときから全国の舞台上で活躍



新春恒例のスポーツ行事として日本中が注目する「箱根駅伝」。90回を数える大会史上、市出身者として初めて「箱根」を走った其田さん。「耳鳴りがするようなすごい声援の中で走っていたのは覚えていますが」と、振り返る。アンカーとなる最終10区で、駒澤大学伝統のたすきを第2位で受け継ぎ、全力でゴール目指して駆け抜けた。

駅伝との出会いは中学生のとき。サッカー部と駅伝部に所属し、1年生のときから駅伝大会に出場していた。「体力づくりのためにやっていた駅伝部でしたが、全国大会（3年生時）で区間2位を記録したときに手応えを感じて、陸上に専念しようと思いました」と、話す。

青森県民駅伝にも十和田市の一員として、中学2年生から高校3年生まで出場。幾多の区間賞を記録、中学3年生のときには8人を抜き去る快走を見せ、一躍脚光を浴びる存在となった。大学ではほぼ毎日、20〜30kmを走り込む。「けがをして走れない時期があったので、今はけがなく走れることが楽しいです」と、笑顔を見せる。

「今回の箱根駅伝は自分も大学も第2位という成績でした。やっぱり1番でチームに貢献したいですね。将来はオリンピックなどの世界大会で活躍したいです」と、力強く抱負を述べた。

誰にも負けないためには 努力が必要です



©駒大スポーツ

◀大学での駅伝デビューとなった「箱根駅伝」。初めての出場とは思えない走りを見せ、区間第2位を記録。今後の活躍に期待が膨らむ



▲「将来の夢は」との問い掛けに「日本一」と記す

人口と世帯 平成25年12月末現在 ※（ ）内は前月比

■人口/64,708人（-16人）男/31,000人（-13人）女/33,708人（-3人）
■世帯数/27,164世帯（+8世帯）



～今日も無事でいてほしい～
みんなで作ろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田